2012年度環境活動レポート

株式会社 敬聖工業

（対象期間:2012年4月1日～2013年3月31日）

作成日 ： 2013年05月11日

株式会社 敬聖工業

目次

◆ 目次 ・・・

株式会社　敬聖工業
環境方針

環境理念

当社は、解体業を営み、地域・社会・地球に共存する一員として、環境保全に取り組み、社会に貢献することを目指します。

行動指針

当社は、東京都の多摩地域を中心とした建物解体業を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し、事務所が自宅にあることから、家族及び従業員と協力し、EA21環境マネジメントシステムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努めます。
微力ですが、環境の時代に世の中に存在感を持って輝きたいと、従業員一同切に思っています。

１．環境関連法規制を遵守します。

２．当社は、次の環境活動を計画的に取組み実施します。
　電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
　事務所での廃棄物の削減、解体現場での廃棄物分別の徹底
　水資源の節水
　化学物質への適切な対応(現在、取扱い無し)
　事務用品のグリーン購入
　環境活動の社会貢献

３．この環境方針は全従業員に周知、徹底します。

制定日:　2011年10月17日
改定日:　2012年5月23日

代表取締役　川崎 敬

取組の対象組織、活動

◆組織の概要

① 名称及び代表者名
株式会社 敬聖工業
代表取締役社長　川﨑 敬

② 所在地
本　社　　東京都東大和市狭山2丁目1241番地の15
駐車場　　東京都東大和市狭山2丁目1252番地の1(無人)

③ 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　　川﨑 敬　　TEL：042-567-5872
担当者　　川﨑 ます美　　TEL：042-567-5872

④ 事業内容
・とび、土木工事業(解体業)
・産業廃棄物収集運搬業

⑤ 事業の規模

活動規模	単位	22年度	23年度	24年度
工事等の件数	件	67	60	61
収集運搬量	t	1,114	1,507	1,297
売上高	百万円	29	42	42
従業員	人	5	5	5
事務所床面積	㎡	19.8	19.8	19.8
敷材置き場面積	㎡	約100	約100	約108
3tダンプ	台	1	1	1
4tダンプ	台	1	1	1
油圧ショベル	台	1	1	1
乗用車	台	0	0	1
ミニショベル	台	0	0	1

⑥ 事業年度
４月～３月

⑦ 資本金
１０００万円

⑧ 法人設立年月日
平成１７年４月設立

◆認証・登録の対象活動(事業の範囲)
登録組織名：　株式会社 敬聖工業（けいせいこうぎょう）
活動：　・とび、土木工事業(解体業)
　　・産業廃棄物収集運搬業（積替保管無し）

取組の対象組織、活動

◆許可の内容

■産業廃棄物収集運搬業
東京都
許可番号　第13-00-132013号
許可年月日 平成18年12月4日
有効期限　平成28年12月3日

埼玉県
許可番号　第11-02-132013号
許可年月日 平成20年7月23日
有効期限　平成25年7月22日

神奈川県
許可番号　第14-02-132013号
許可年月日 平成23年12月22日
有効期限　平成28年12月21日

■建設業許可
とび・土工工事業
許可番号　(般-23) 124798号
許可年月日 平成18年11月20日
有効期限　平成28年11月19日

■エコアクション21
認証･登録番号 0008584
許可年月日　平成24年08月06日
有効期限　平成26年08月05日

◆有資格

石綿使用建築物等解体等：2名

職長・安全衛生責任者：1名

車両系建設機械運転技能
特例講習修了証(解体用)：1名

車両系建設機械運転技能講習
(整地、運搬、積込み用
及び掘削用機械)：1名

ガス溶接：4名

足場組立等作業主任者：2名

石綿作業主任者：1名

◆事業の区分

建設業
産業廃棄物収集運搬業(積替保管無し)

◆廃棄物の種類

廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、
ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類 以上7種類

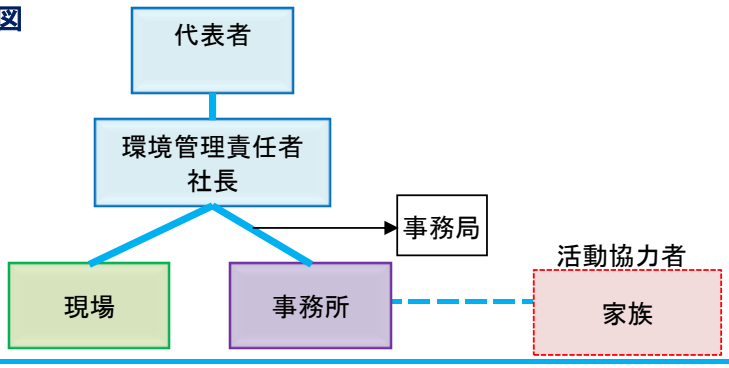
◆処理実績 別表1の受託した産業廃棄物の処理量

廃棄物等種類	処理量(t)
コンクリート塊	43.7
建設発生木材	247.7
がれき類	482.8
繊維くず	4.9
紙くず	0.8
廃プラスチック	23.2
混合廃棄物	41.0

◆廃棄物処理料金

建築物の構造、大きさ、距離などに
よって異なりますので、個別見積りとなります。

◆組織図



環境目標とその実績

環境方針	取組項目	年度 単位	2010年度 （実績）	2012年度 （目標）	2012年度 （実績）	2013年度 （目標）	2014年度 （目標）
電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	%		3※	1%削減	4.5	5
		(kg-CO^2)	28,932	30,008	29,741	29,487	29,333
事務所での廃棄物の削減	分別及びリサイクルの推進	%		2	25%削減	3	3.5
		(kg/年)	124	121	91	120	119
現場での廃棄物分別の徹底（総量）	分別及びリサイクルの推進	%		2	19%増加	3	3.5
		(t/年)	1114	1,092	1,297	1,081	1,075
解体現場での廃棄物分別の徹底	埋立処分量の削減	%		2	30%増加	3	3.5
		(t/年)	29.4	28.8	37.5	28.5	28.3
水資源の節水	事業所利用水の節水（単位：㎥）	%		1.5倍※	17%削減	4	4.5
		(㎥/年)	235	353	294	338	337
化学物質への適切な対応	現在事業活動では使用していません	%	－	－	－	－	－
		(拡大/年)	－	－	－	－	－
事務用品のグリーン購入	グリーン商品の積極的購入	% (グリーン商品/事務用品)	48.6	55	64	60	62
環境活動の社会貢献	ボランティア参加（地域の清掃）、エコキャップ毎日回収等	回/年	0	2	2	3	3
		エコキャップ回収	×	毎日	○	毎日	毎日

※2011年度より、家族が2名増加した為、「電力消費量」、「灯油消費量」、「事業処理用水」の目標を基準年の150%に修正する。
但し、基準年より**一人当たり25%削減**の目標となる。

1 二酸化炭素排出量は、電力使用量及び燃料使用量の総量で管理する。
電気、ガソリン、軽油、灯油の各削減目標の値が違う為、削減目標の平均値を記載する。
二酸化炭素排出量の係数が項目によって異なる為、目標値と割合が一致しない。
電気*0.374、ガソリン*0.0671*34.6、軽油*0.0687*38.2、灯油*0.0679*36.7
2 廃棄物排出量は、一般廃棄物及び産業廃棄物に対して個々で管理する。
3 水使用量については、事務所、作業所における水使用量の削減について実施する。
4 グリーン購入は、事務用品について取組む。
5 上記の目標の他、作業現場の環境及び品質安全向上ために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組

主要な環境活動計画の内容

方針	取組項目	活動計画の内容	責任部門・担当者
電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	電力消費量の削減（kWh）	① 不用時の消灯 ② 機械設備・OA機器などの電源オフ ③ エアコンの温度管理（夏季28℃±1℃） ④ よしず、扇風機の利用 ⑤ 白熱電球をLED電球に取り替え	川﨑ます美
	ガソリン消費量の削減（単位：L） 軽油消費量の削減（単位：L）	① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認 ② 暖気運転・アイドリングストップ ③ エコドライブの実施 ④ カーナビを設置し最短距離で運転	川﨑 敬
	灯油消費量の削減（単位：L）	③ ヒーターの温度管理（冬季22℃±1℃）	川﨑 ます美
事務所での廃棄物の削減	分別及びリサイクルの推進（単位：t）	① 使用済みコピー用紙の再利用 ② 無駄な資機材を購入しない ③ 廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する（廃品回収への協力や回収業者に持ち込む）	川﨑 ます美
解体現場での廃棄物分別の徹底	埋立処分量の削減	① 現場での廃棄物の分別を徹底 ② 現場での廃棄物の軽減 ③ 埋立処分量の軽減	川﨑 敬
水資源の節水	事業所利用水の節水（単位:㎥）	① 水洗トイレの水使用量を減らす ② 水を流しながらの洗い物はしない ③ 節水シャワーヘッドの使用 ④ 食洗機の使用	川﨑 ます美
化学物質への適切な対応（現在、取扱い無し）	取扱の監視 取扱う場合は、適切な対応	① 取扱の監視	川﨑 敬
事務用品のグリーン購入	グリーン商品の積極的購入	① グリーン商品の購入 ② 充電式乾電池の使用	川﨑 ます美
環境活動の社会貢献	地域の清掃、ボランティア参加、エコキャップ回収等	① ボランティアに積極的に参加 ② エコキャップの回収 ③ インクカートリッジの回収	川﨑 敬
環境方針の周知	環境教育の促進	① 教育訓練計画書に基づき、実施する ② 環境方針、環境レポートを各車両に携帯 ③ 環境方針を事務所に掲示	川﨑 敬

環境活動の取組結果の評価 次年度の取り組み

環境方針	取組項目（単位）	2012年度 目標（修正後）	2012年度 実績	取組の評価	次年度の計画
電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	電力消費量の削減(kWh)	基準年 *1.5倍に修正 9,741 KWh	35% 削減 6,359 KWh	節電が習慣化されている	節電の継続
	ガソリン消費量の削減(L)	3 %削減する 606 ℓ	+147% 増加 1,499 ℓ	原単位では、削減できている※1	目標値の変更検討
	軽油消費量の削減(L)	3 %削減する 9,115 ℓ	2% 削減 8,944 ℓ	目標達成	最短距離での移動
	灯油消費量の削減(L)	基準年 *1.5倍に修正 413 ℓ	61% 削減 162 ℓ	目標達成	温度管理の徹底
	二酸化炭素排出量の削減(kg-CO2)	30,008 kg-CO2	29,741 kg-CO2	目標達成	省エネ活動の継続
事務所での廃棄物の削減、解体現場での廃棄物分別の徹底	一般廃棄物	2 %削減する 121 kg	25% 削減 91 kg	目標達成	ゴミ削減の継続
	産業廃棄物埋立処分量	2 %削減する 28.76 t	+30% 増加 37.52 t	原単位では、削減できている 問題なし※2	徹底分別の継続
	産業廃棄物総量	2 %削減する 1,092 t	+19% 増加 1,297 t	原単位では、削減できている 問題なし※3	ゴミ軽減の継続
水資源の節水	事業処理用水の節水(㎥)	基準年 *1.5倍に修正 353 ㎥	17% 削減 294 ㎥	目標達成	節水トイレの設置
化学物質への適切な対応（現在、取扱い無し）	取扱の監視、取扱う場合は適切な対			取扱無し	監視活動の実施
事務用品のグリーン購入	グリーン商品の積極的購入	55 %に拡大する	64% 目標達成	目標達成	グリーン商品購入の継続
環境活動の社会貢献	ボランティア参加、エコキャップ回収等	2 件以上取り組む	ボランティア活動2件 目標達成	目標達成	積極的な参加

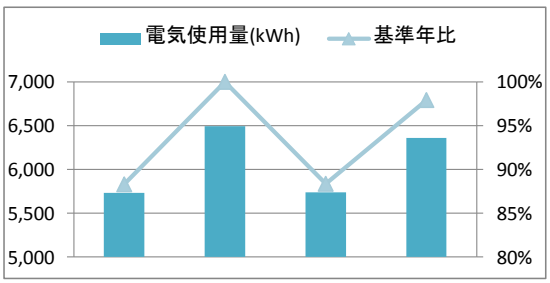
※1 ガソリン消費量+軽油消費量の1坪あたりの消費量は、目標12.3ℓに対して、7.0ℓと43%削減できている。
※2 1坪あたりの排出量は、目標の0.04tに対して、0.03tと25%削減できている。
※3 1坪あたりの排出量は、目標の1.38tに対して、0.87tと37%削減できている。

環境活動の取組結果の評価

電力消費量の削減

不用時の消灯
機械設備・OA機器などの電源オフ
エアコンの温度管理(夏季28℃±1℃)
よしず、扇風機の利用
白熱電球をLED電球に取り替え

目標	9,741	
結果	6,359	65.3%
目標達成 35%削減		



年度	2009	基準年	2011	2012
電気使用量(kWh)	5,734	6,494	5,738	6,359
基準年比	88%	100%	88%	98%

評価

家族が増えた為、目標を基準年の1.5倍に変更した。
(基準年より一人当たり25%削減の目標)
エコキュートを使用している為、冬場は予想通り
使用量が増加しているが、節電が習慣になっている
為、問題なく達成できた。
また、ソーラーパネルを増設した為、発電が約1.5倍
になった。

目標設定

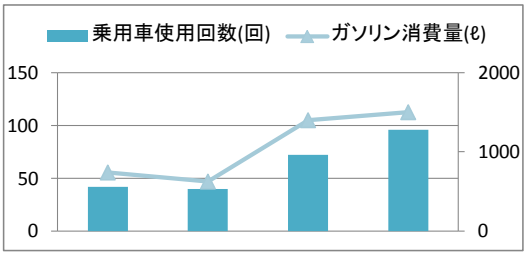
今年度の目標値より、6%の削減の値を目標として設定

環境活動の取組結果の評価

ガソリン消費量の削減

不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認
暖気運転・アイドリングストップ
エコドライブの実施
カーナビを設置し最短距離で運転

目標	606	
結果	1,499	247.4%
目標不達成147%増加(基準年比)		



評価

ダンプが不要な現場は、乗用車を相乗りして
通勤(3tダンプ 定員2名、乗用車 定員 5名)する
ことを徹底した為、ガソリンの消費量が増加した。
そのことにより、軽油の消費量は減少した。
ガソリン消費量+軽油消費量の1坪あたりの消費量は、
目標12.3ℓに対して、7.0ℓと43%も削減できている。
年々、見積りや打合せの件数も増加していることから、
目標設定を見直すことを検討したい。
問題なしと判断する。

年度	2009	基準年	2011	2012
乗用車使用回数(回)	42	40	72	96
ガソリン消費量(ℓ)	739	625	1,398	1,499

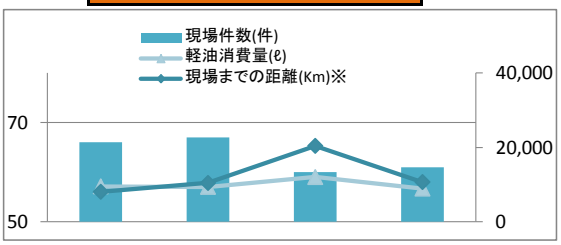
目標設定

基準年より、4%の削減の値を目標として設定

軽油消費量の削減

不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認
暖気運転・アイドリングストップ
エコドライブの実施
カーナビを設置し最短距離で運転

目標	9,115	
結果	8,944	98.1%
目標達成 2%削減(基準年比)		



評価

ダンプが不要な現場は、乗用車を相乗りして
通勤(3tダンプ 定員2名、乗用車 定員 5名)する
ことを徹底した為、ガソリンの消費量が増加した。
そのことにより、軽油の消費量は減少した。
近くの現場が多かったことも要因である。

年度	2009	基準年	2011	2012
現場件数(件)	66	67	60	61
軽油消費量(ℓ)	9,541	9,397	12,040	8,944
現場までの距離(Km)※	8,079	10,447	20,416	10,695

※(現場までの往復距離 × 工事日数)+
(現場までの往復距離 × ダンプレンタル日数)

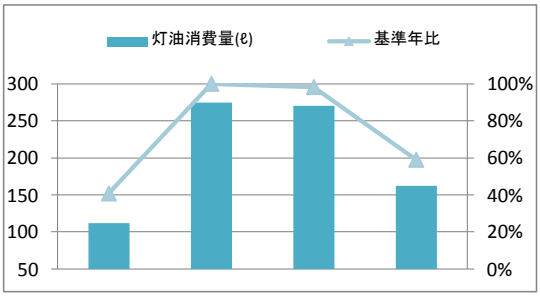
目標設定

基準年より、4%の削減の値を目標として設定

灯油消費量の削減

ヒーターの温度管理(冬季22℃±1℃)

目標	413	
結果	162	39.2%
目標達成 61%削減		



評価

家族が増えた為、目標を基準年の1.5倍に変更した。
(基準年より一人当たり25%削減の目標)
ヒーターの温度管理(ほぼ19℃に設定)の
徹底と、厚着を基本とし、乗り越えた。
家族の協力が大きかった。
問題なく達成できた。
今後も継続していきたい。

目標設定

今年度の目標値より、4%の削減の値を目標として設定

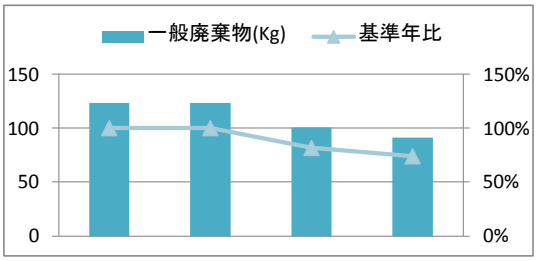
年度	2009	基準年	2011	2012
灯油消費量(ℓ)	112	275	270	162
基準年比	41%	100%	98%	59%

環境活動の取組結果の評価

分別及びリサイクルの推進 一般廃棄物

使用済みコピー用紙の再利用
無駄な資機材を購入しない
廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底
(廃品回収への協力や回収業者に持ち込む)

目標	118	
結果	91	77.4%
目標達成 22%削減(基準年比)		



評価

昨年同様、プリント済の裏紙を利用することにより
用紙の無駄な購入が無くなった。
同様の理由で、ゴミも減った。
問題なく達成できた。今後も継続していきたい。

目標設定

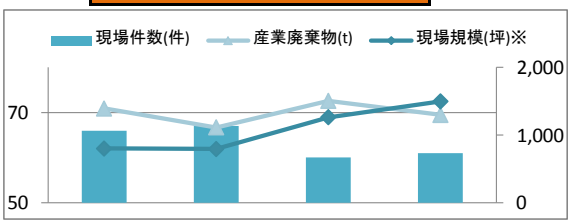
基準年より、3%の削減の値を目標として設定

年度	2009	基準年	2011	2012
一般廃棄物(Kg)	124	124	101	91
基準年比	100%	100%	82%	74%

分別及びリサイクルの推進 産業廃棄物(総量)

現場での廃棄物の分別を徹底
現場での廃棄物の軽減
埋立処分量の軽減

目標	1,092	
結果	1,297	118.8%
目標不達成19%増加(基準年比)		



評価

産業廃棄物の総量が、目標達成できなかった。
基準年に比べて、現場件数が少なかったが、
現場規模が増大した。
1坪あたりの排出量は、目標の1.38tに対して、
0.87tと37%も削減できている。問題なしと判断する。
今年度は、収集運搬は元請で実施する工事が複数あっ
ので、産業廃棄物の総量は少ない方である

目標設定

基準年より、3%の削減の値を目標として設定

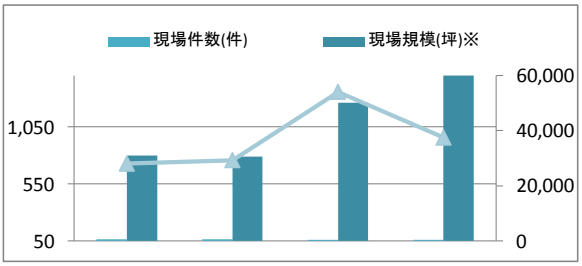
年度	2009	基準年	2011	2012
現場件数(件)	66	67	60	61
産業廃棄物(t)	1,392	1,114	1,506	1,297
現場規模(坪)※	799	792	1,264	1,498

※ 坪数の合計。坪数の不明なものは、売上÷30000で坪数を換算
伐採や内装解体などは規模に含めず。

埋立処分量の削減

現場での廃棄物の分別を徹底
埋立処分量の軽減

目標	29	
結果	38	130.3%
目標不達成30%増加(基準年比)		



評価

埋立処分量が目標達成できなかった。
基準年に比べて、現場件数が少なかったが、
現場規模が増大した。
1坪あたりの排出量は、目標の0.04tに対して、
0.03tと25%も削減できている。問題なしと判断する。

目標設定

基準年より、3%の削減の値を目標として設定

年度	2009	基準年	2011	2012
現場件数(件)	66	67	60	61
産業廃棄物埋立処分量(Kg)	28,060	29,347	54,093	37,518
現場規模(坪)※	799	792	1,264	1,498

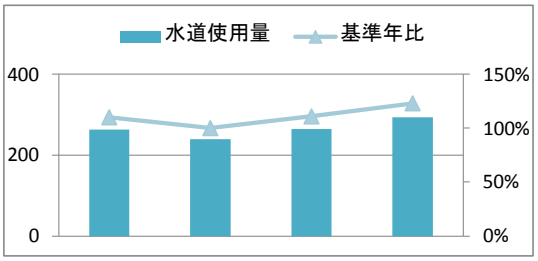
※ 坪数の合計。坪数の不明なものは、売上÷30000で坪数を換算
伐採や内装解体などは規模に含めず。

環境活動の取組結果の評価

水の消費の削減

水洗トイレの水使用量を減らす
水を流しながらの洗い物はしない
節水シャワーヘッドの使用
食洗機の使用

目標	353	
結果	294	83.3%
目標達成 17%削減		



評価

家族が増えた為、目標を基準年の1.5倍に変更した。
(基準年より一人当たり25%削減の目標)
節水を心がけたが、子供の洗濯ものがとても多く、
結果を出すのが難しかった。
目標は達成できたので、今後も継続していきたい。
2013年度は節水トイレの設置をする。

目標設定

今年度の目標値より、4%の削減の値を目標として設定

年度	2009	基準年	2011	2012
水道使用量	263	239	265	294
基準年比	110%	100%	111%	123%

化学物質への適切な対応

取扱の監視

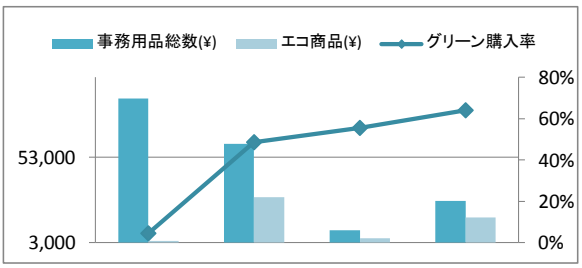
評価

現在、化学物質の取り扱いはなし。
取扱の監視を継続し、取扱う場合は適切な対応を実施

事務用品のグリーン購入

グリーン商品の購入
充電式乾電池の使用

目標	55%	
結果	64%	116.4%
目標達成 16%増加(前年比)		



評価

問題なく目標達成できた。
今後も継続していきたい。

目標設定

62%に拡大する

年度	2009	基準年	2011	2012
事務用品総数(¥)	87,400	60,793	10,183	27,588
エコ商品(¥)	3,950	29,530	5,649	17,655
グリーン購入率	5%	49%	55%	64%

環境活動の社会貢献

ボランティアに積極的に参加
エコキャップの回収
インクカートリッジの回収

目標	2	
結果	2	100.0%
目標達成 50%増加(前年比)		

評価

清掃のボランティアに2回参加した。
エコキャップの回収、インクカートリッジの回収も昨年同様行った。今後も継続していきたい。

環境活動の取組結果の評価

目標未達成の再評価

ガソリン

売上比率では、
ガソリンは、14.3%上昇しているが、
軽油は、108.7%減少している。
現場規模比率では、
ガソリンは、21.2%上昇しているが、
軽油は、589.4%減少している。
問題なしと判断する。

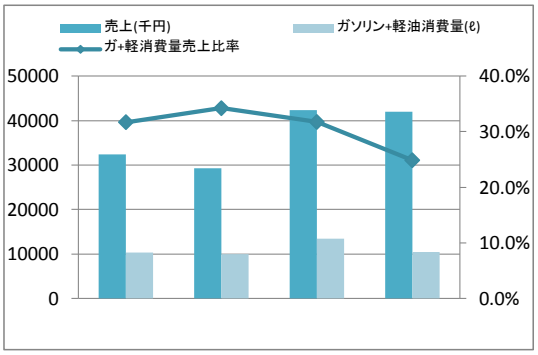
【売上比率】

年度	2009	基準年	2011	2012
売上(万円)	3,241	2,921	4,232	4,199
ガソリン消費量(ℓ)	739	625	1,398	1,499
ガソリン売上比率	22.8%	21.4%	33.0%	35.7%
軽油消費量(ℓ)	9,541	9,397	12,040	8,944
軽油売上比率	294.4%	321.7%	284.5%	213.0%
産業廃棄物総量(t)	1,392	1,114	1,506	1,297
産廃総量売上比率	42.9%	38.1%	35.6%	30.9%
内埋立処分量(t)	28	29	54	38
埋立処分量売上比率	0.9%	1.0%	1.3%	0.9%

【規模比率】

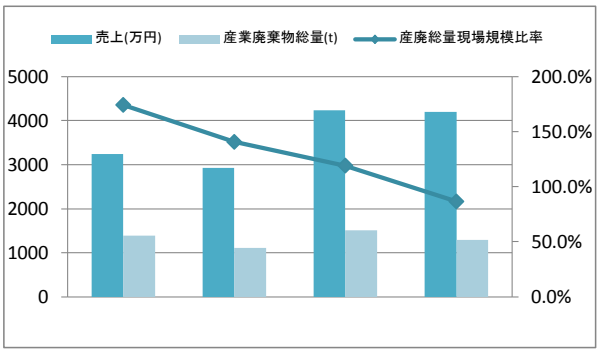
年度	2009	基準年	2011	2012
現場規模(坪)※	799	792	1,264	1,498
ガソリン消費量(ℓ)	739	625	1,398	1,499
ガソリン現場規模比率	92.5%	78.9%	110.6%	100.1%
軽油消費量(ℓ)	9,541	9,397	12,040	8,944
軽油現場規模比率	1194.1%	1186.5%	952.5%	597.1%
産業廃棄物総量(t)	1,392	1,114	1,506	1,297
産廃総量現場規模比率	174.2%	140.7%	119.1%	86.6%
内埋立処分量(t)	28	29	54	38
埋立処分量現場規模比率	3.5%	3.7%	4.3%	2.5%

※ 坪数の合計。坪数の不明なものは、売上÷30000で坪数を換算
伐採や内装解体などは規模に含めず。



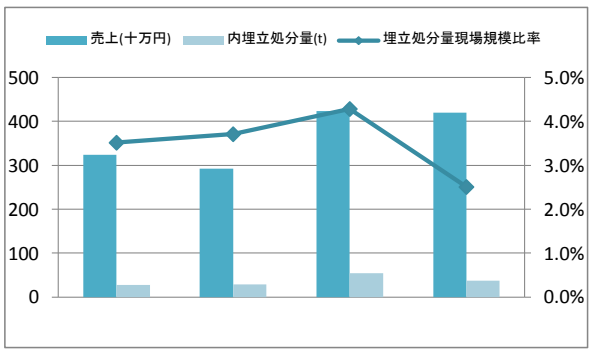
産業廃棄物総量

売上比率では、7.2%減少している。
現場規模比率では、54.1%減少している。
問題なしと判断する。



産業廃棄物埋立処分量

売上比率では、0.1%減少している。
現場規模比率では、1.2%減少している。
問題なしと判断する。



次年度の活動計画

今年度と同様の活動を継続して実施します。
また、節水トイレの設置をします。グリーンウェーブに参加します。
少数人数での防災訓練の実施が難しかった為、(役所への届出が必要)次年度は、
視聴覚教材を借りて視聴しようと思います。
環境への取組チェックの結果で、さらに取組が必要であった、「両面、集約等の機能を活用した印刷及び
コピーを徹底している」については、現在のプリンターが使用不能のなった際に、両面印刷機能付のプリンター
購入を検討します。
また、廃棄物の最終処分先の見学が時間がとれず実施していないので、次年度に実施したいと思います。

環境活動の紹介

ライトダウンキャンペーン参加

環境省の地球温暖化防止のための
夏至ライトダウン:6/21、
七夕ライトダウン:7/7に参加

グリーンコイン制度利用

ホテル宿泊の際、アメニティを使用せずに、グリーンコインをフロントの回収箱に投入

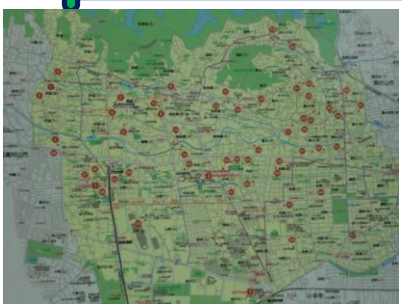
東京海上日動

契約のしおりを、冊子ではなく、ホームページで閲覧する、Web約款の利用

Eco通帳に賛同

Webで入出金を確認する、エコ通帳に切り替え

地産池消



東大和市市民部産業振興課で公開されている、農産物直売所マップに掲載されている、直売所で野菜を購入している

ソーラーパネル増設

ソーラーパネルを増設275Kwから5.18Kwへ
南側 18枚だけだったのを、
北側 9枚、西側 11枚追加した

環境活動の紹介

環境に優しい洗剤を使用

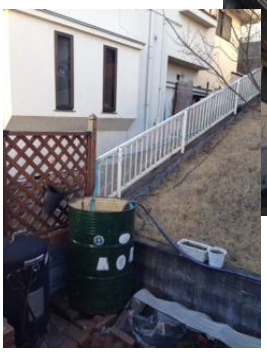
環境に優しい洗剤「Frosch」を使用。Froschの洗剤は、ヤシ油などの植物由来の洗浄成分を使用しているので、バクテリアにより無害なものに分解される洗浄成分です

書き損じハガキを寄付

書き損じハガキを「ハンガー・フリー・ワールドへ寄付

hunger free worldとは・・・
飢餓のない世界を創るために活動する国際協力NGOです
食料ロス・廃棄問題の解決をめざすフードロス・チャレンジ・プロジェクトなどがあります

雨水の利用



カーポートの雨どい⇒
雨水タンク(500L用)⇒
ドラム缶(200L)⇒
・スプリンクラーに接続 庭に散水
・洗車に利用
・災害時に利用

東京都の平均年間降水量は約1400mm
1年間に畳1枚(0.9m×1.8m)分の面積に降る雨を全て溜めておくと、約2.2t(お風呂約11杯分)となります
カーポート1台分(2.4m×5m)分で計算すると、16.28t(お風呂81杯分)となります

環境関連法規等の遵守状況

作成日:	平成23年10月25日
改訂日:	平成25年2月26日
順守状況確認日:	平成25年2月28日
順守状況確認者:	川﨑 敬

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、
過去3年間ありませんでした。
毎年2月に一覧表を見直し、遵法状況をチェック

環境法規制等の名称/略称	規制内容 届出、作業等	順守状況
廃　棄　物　処　理　・　リ　サ　イ　ク　ル		
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理	○
リサイクル法	解体工事、土工事、外構工事、型枠工事、木工事	○
建設リサイクル法	・解体工事-80㎡以上・新築・増築工事-500㎡以上・修繕・模様替工事-１億円以上・その他の工作物に関する工事（土木工事等）-500万	○
容器包装リサイクル法	建設工事全般	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器の排出（作業所あるいは詰所の家電が対象）	○
（地方条例を入れる）		
＜同意するその他の要求事項＞		
建設廃棄物処理指針（平成22年度版）	産業廃棄物の処理、委託	○
優良産廃処理業者制度運用マニュアル	産業廃棄物の適正委託	○
建設副産物適正処理推進要綱	建設副産物が発生する建設工事	○
建設汚泥の再生利用に関するガイドライン等	建設汚泥が発生する作業	○
石綿含有廃棄物等処理マニュアル（第2版）	石綿含有廃棄物の処理	○
大　気　汚　染		
	解体・改修工事に伴う「特定建築材料(石綿等）」の除去作業	○
建設業に係る特定地域における自動車排出窒素酸化物の排出の抑制を図るための指針	マイクロバス、貨物車、クレーン車、コンクリートミキサー車など	○
オフロード法	ブルドーザ、クローラクレーン、くい打ち機、タワークレーン、ドリルジャンボなど	○
フロン回収破壊法	解体工事（改修工事）	○
（地方条例を入れる）		
＜同意するその他の要求事項＞		
建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル	解体・改修工事に伴う石綿等の除去作業等	○
排出ガス対策型建設機械普及促進規程	国土交通省直轄工事	○
騒　音　・　振　動		
騒音規制法	杭打ち機、びょう打機、削岩機、空気圧縮機等を使用する作業	○
振動規制法	杭打ち機、くい抜き機、ブレーカー 、舗装版破砕機を使用する作業	○
（地方条例を入れる）		
水　質　汚　濁　（排　水）		
浄化槽法	現場宿舎	○
（地方条例を入れる）		
＜同意するその他の要求事項＞		
土壌環境基準（環境基本法）	土工事	○
地下水環境基準（環境基本法）	土工事	○
土壌汚染対策法に基づく調査及び措置、汚染土壌の運搬及び処理に関するガイドライン		○
そ　の　他　関　連　法　令		
消防法（危政令）	火気の使用	○
環境影響評価法	環境影響評価	○
高圧ガス保安法	高圧ガスボンベ使用	○
（地方条例を入れる）		
＜同意するその他の要求事項＞		
建設工事公衆災害防止対策要綱　（建築・土木）	工事全般、解体工事	○
学校環境衛生の基準	学校の新築・改築・改修工事	○
作業所で同意するその他の要求事項	・時間外の作業	○
	環境経営	○
建設業の環境自主行動計画　第4版(改訂版)	環境経営	○
	環境保全	○

代表者による全体の評価と見直し結果

トライアル期間が終わり、初めての年間通しての活動となりました。
環境活動を意識して日常を過ごしていると、環境の為にやればできることが、
まだ沢山あるのだということを実感いたしました。
このような活動を、一人でも多くの方に理解し、参加して頂ければ、
よりよい環境になることは、間違いありません。
地域社会に貢献するため、引き続き社員一丸、環境活動を継続させていきます。

ガソリンの消費量の削減が未達成でしたが、ダンプを使用しない現場に
乗用車で行くよう徹底したことが、使用量が増加した要因です。
売上比率で確認しても、ガソリンは基準年より1.5%増加していますが、
軽油は10.8%減少している為、問題なしと判断します。

産業廃棄物が未達成でしたが、現場の規模が増加したのが要因です。
売上比率で確認しても、基準年より0.7%減少している為、問題なしと判断します。

今年度は、収集運搬のみ元請で実施し、弊社は解体工事のみ実施するという
工事が複数回ありました。
通常通りの弊社が収集運搬を実施すると、産業廃棄物の総量は増量します。
来年度は、産業廃棄物の総量が増加すると予測できます。
総量は参考に記載しますが、原単位での評価を中心に目標を設定しようと思います。

環境方針、環境活動計画は、このまま実施していきます。
来年度は、節水トイレを設置し、さらなる節水を目指します。
グリーンウェーブに参加し、庭に植樹します。
家族を含め、全社員が意識をもち、この調子で継続して環境
活動を実施、チャレンジし続けていきたいと思います。